

上高津貝塚ふるさと歴史の広場 テーマ展
「土浦の遺跡19 平成24年度遺跡調査の成果」

—縄文のむら、古代のむら、 戦国の堀、江戸の武家屋敷と戦前の小学校—

上高津貝塚ふるさと歴史の広場は、国指定史跡上高津貝塚の保存と博物館活動以外に、市内の埋蔵文化財を調査する施設としても活動しています。今回の展示では、昨年度に発掘調査や整理調査等を行った4つの遺跡の調査成果を紹介します。

土浦小学校の校舎改築に伴う「土浦城跡 西郭」の調査では、江戸時代後期の武家屋敷の建物基礎と明治時代以後の土浦小学校に関する遺物などが出土しました。「手野新堀遺跡」では戦国時代の堀と土塁が見つかりました。「下高津小学校遺跡」からは古墳時代後期から奈良・平安時代にかけての集落が見つっています。「神立遺跡」からは縄文土器が多数出土しました。

●記念講演会

「出土遺物にみる土浦城武家屋敷のくらしと明治時代の小学生」

と き／5月6日(火) 午後2時から
ところ／考古資料館2階 体験学習室
講 師／石神裕之さん(慶應義塾大学非常勤講師)
定 員／60人(先着順)

●調査発表会

「平成24年度遺跡調査の成果」

と き／3月30日(日) 午後2時から
ところ／考古資料館2階 体験学習室
講 師／考古資料館学芸員

※記念講演会・調査発表会は、入館料が必要です。



◀「戦前の土浦小学校で使われたもの」

明治時代から戦前にかけて使用されたものです。インク瓶(前・後列左)と水滴(前列中央)、計量容器(後列中央)、薬瓶(前列右)などです。後列右は「みかん水」と陽刻されたガラス瓶で、現在の清涼飲料水のはしりです。

こいまりそめつけさら 「古伊万里染付皿」▶

土浦城跡西郭から出土した皿で、肥前国(佐賀県・長崎県)で作られたものです。17世紀前半頃と江戸時代でも早い時期に作られたもので、県内では余り出土例がありません。



◀「古代のむらで使われた土器」

下高津小学校遺跡で出土したものです。古墳時代後期の土製の壺や鉢(後列)・椀(中列左)のほか、奈良時代の土器(中列右)や網のおもり(前列)があります。

上高津貝塚ふるさと歴史の広場(考古資料館)

【上高津1843 ☎826-7111】

休館日／毎週月曜日(5月5日を除く)、4月30日(水)、
5月7日(水)

※3月25日(火)は臨時開館

開館時間／午前9時～午後4時30分

入館料／一般…105円、小・中学生、高校生…50円(20人以上の団体は一般…75円、小・中学生、高校生…30円)

◎毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料